



HPを
チェック

他のニュースも、ホームページで随時更新中！

ぽらーのNEWS トピックス

管内出品牛が多数上位入賞！ 岩手県畜産共進会

第69回岩手県畜産共進会黒毛和種の部が9月3日、J A全農いわて中央家畜市場（雫石町）で開かれ、J A管内から4頭が出品されました。

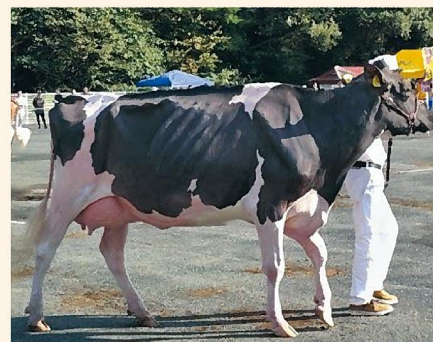
体型や発育などによって審査され、久保田直紀さん（花巻市西晴山）の「さわゆうほう号」が名誉賞に選ばれました。代理で表彰を受けた久保田さんの妻・美代子さんは「J A職員に指導されたことを実行した成果が出た」と受賞を喜びました。「さわゆうほう号」は令和8年に開催される第65回農林水産祭に出品されます。



黒毛和種の部で名誉賞に選ばれた久保田さんの「さわゆうほう号」

す。第2区（若雌の1）では高橋政吉さん（花巻市尻平川）の「わかさくら号」が、第5区（繁殖雌牛群）では古川博貞さん（花巻市東十二丁目）の「せいいな号」が1等賞に輝きました。

26日に行われたホルスタイン種の部では、佐野茂樹さん（遠野市上郷町）が6頭を出品し、第15部（経産・5歳以上6歳未満）で「プロスペリラッキーチエンオーサム」が1等賞を受賞しました。10月25日、26日開催の第16回全日本ホルスタイン共進会に岩手県代表で出品されます。



ホルスタイン種の部で1等賞を受賞した佐野さんの「プロスペリラッキーチエンオーサム」

「二子さ」といも出荷スタート！ まろやかな秋の味覚を食卓へ

J Aは9月16日、「二子さ」といも選果場（北上市二子町）で令和7年産「二子さ」といもの出発式を開きました。

北上地域野菜部会さといも専門部の鈴木賢二郎氏は「栽培管理に苦労した年。お店で見かけたら手に取っていただき、本場の味を堪能してほしい」と呼び掛けました。今年度は出荷量150t、販売金額7000万円を掲げ、関係機関が一体となってPR強化をはかります。



出荷を祝いテープカットを行う関係者

ピーマン食べてね 「ピーやん」児童らにPR

J Aは8月27日、花巻市立笹間第一小学校（花巻市中笹間）で花巻産ピーマンを使用した食育活動を行いました。

この日の給食で児童たちは、地元産ピーマンを使用した肉詰めを味わいました。また、J Aのオリジナルキャラクター「ピーやん」が1年生と2年生の教室を訪れ、J A職員が「たくさん食べてね」とPRしました。児童たちはおいしかった」と感想を伝えていました。



ピーマンをPRするJ A職員と「ピーやん」

安全作業願い「新発式」 米の検査が始まる

J Aは9月19日、令和7年産米の等級検査を始めました。宮野目倉庫（花巻市東宮野目）では、検査の安全を祈願する新発式を行い、小原卓志宮農担当常務は「安全作業を心掛け、公正・誠実な検査をお願いしたい」と呼び掛けました。

同日4会場で行った初検査では「ひとめぼれ」や「銀河のしずく」など計5447袋を検査し、1等米比率は97.9%となりました。



19日、1050袋を検査した宮野目倉庫

立派に実ったお米を収穫！ 管内各地域の小学校で稲刈り体験

J A管内各地域の小学校は9月中旬から下旬にかけて、農業学習の一環として稲刈り体験を行いました。

22日には、花巻市立湯口小学校の5年生23人が、鎌を使用した手刈りに挑戦した他、コンバイン作業の様子を見学するなど、収穫について学びました。田んぼを管理する（株）フロンティア上根子上の平賀敏男代表は「お米をたくさん食べ、元気に育ってほしい」と話しました。



丁寧に稲を刈り取る湯口小の児童

J Aグループと県議会が意見交換 農業課題の解決に向けた施策を要請

J Aグループと岩手県議会は9月24日、農業農村関連施策に関する要請集会を盛岡市内で開きました。J A側からは生産資材の高騰や担い手不足、施設の老朽化といった課題解決に向けた要請を行い、活発な議論が交わされました。

J A岩手県五連の伊藤清孝会長は「J A、県、市町村が一体となり『岩手県農業生産強化ビジョン』を実効性あるものにしていきたい」と話しました。



要請会に参加した伊藤会長や県内各J Aの組合長、県議会議員ら

ゲームを通じて農業経営を学ぶ 金融教育出前授業

J Aは9月17日、岩手県立遠野緑峰高校で金融教育の出前授業を行い、同校の1年生29人が農業経営をテーマとしたシミュレーションゲームを通じて「将来とお金」について学びました。

生徒たちは5つのグループに分かれ、農家の設定でゲームをスタート。J A職員の助言を受けながら費用や売り上げ金、借入れ金などを工夫して経営方法について考えていました。



経営方法を考える生徒たちと、助言するJ A職員